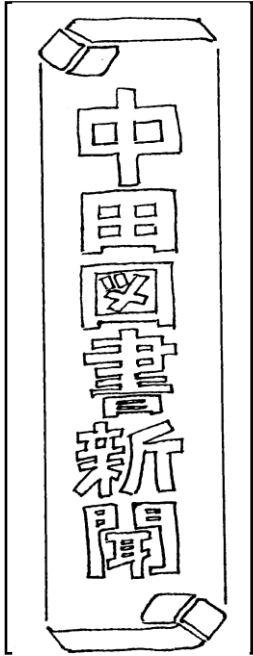


BOOKS なかだ 掛尾本店コミッククラブ 富山市掛尾町1-80-1 TEL 076-492-1192



【主な記事】
・同じ小説を何度も読む効能とは？
・少女スナイパーの成長記
・温かい気持ちになれる絵本

同じ小説を何度も読む効能とは？

永遠の名作 Raymond Chandler THE LONG GOOD-BYE に新訳が登場。詩情あふれる清水俊二訳、思い入れが深すぎる村上春樹訳(初の完訳でもある)に続く偉業を達成したのは田口俊樹。ローレンス・ブロッックの翻訳者として最も知られるが(個人的にはマイクル・Z・リューインのリーロイ・パウダーものに思い入れがある)、近年はミス・テリ・クラシックに力を入れているように、ケインにロスマクにハメットにレナードにダールにクリステイと代表作を次々新訳している(この辺のことは田口さんの『日々翻訳ざんげ エンタメ翻訳この四十年』をお読みください)。

チャンドラーに関しては全中短編を年代順に網羅する画期的全集への参加(最終巻『トラブル・イズ・マイ・ビジネス』)という布石があり、今回『長い別れ』が上梓の運びとなった。本来であれば三訳の読み比べについて記述すべきだが(それはこれから読まれる諸兄の楽しみにとってお

率直な感想を述べたい。筆者は原著の拾い読みも含め本書を四回読んでおり、有名な場面やセリフは頭に入っていたのだが、今回読んで心に沁みてきたのは細部であった。例えばマールロウがテリーを二度目に見かけるシーン。ホームレス同然となったテリーをしよつ引こうと警官が迫る。マールロウはテリーを逃がそうとタクシー運転手に五ドル提示して彼を乗せる。二人が知り合いなわけはないと警官が詰め寄るが、マールロウは「彼が友達を必要としていることがわかるくらいには親しい」と突っぱねる。そのやりとりを見たタクシー運転手は五ドルを固辞し、メーター分の一ドルだけ受け取る。運転手にも落ちぶれて乗車拒否をくらった過去があることが明かされるのだ。

こんな運ちゃんいたっけなあ。粹すぎるぜ。そんな細部が見えてくる田口訳でした。

少女スナイパーの成長記

成長記

『同志少女よ、敵を撃て』は昨年十一月の発売でしたが、さかのぼること二か月ほど前、出版社の担当者より「この本、新人のデビュー作なのですがすごく力を入れている新刊なので是非読んでみて！」と熱いお勧めの言葉とともにデラ(製本前の試し読み版)を渡され、若干その熱量にたじろぎながら受け取りました。

物語は第二次世界大戦中のソ連。ドイツ軍に家族どころか、村人すべてで殺された猟師の少女が同じ境遇の少女たちと一緒に狙撃兵として戦う話です。命の恩人である女性教官との対立・少女たちの友情と裏切りなど女性的な話もありながら、激戦地での過酷な日々が詳細でリアリティのある描写で心に迫ってきます。死地を潜り抜けた結果を挙げる主人公の成長と、その結末を見届けていただきたい。

新人の新作にそんなに力を入れて大丈夫か？と心配しながら読み始めましたが、すぐに世に問うべき大作だとわかりました。結果として今年の本屋大賞を受賞しましたが納得の一冊です。



逢坂 冬馬

ぎよく

玉自伝

評伝には名作が多い一方、得てして自伝というものはつまらないと感じる作品が多い。自慢や過去の栄光をひけらかすだけのものが多い。玉石混交の中でも玉が少ないジャンルなのだ。藤倉大さんと言えば、映画「蜜蜂と遠雷」に登場する楽曲の作曲者。「世界でもっとも演奏機会が多い」という天才作曲家である。『どうしてこうなったのか』はそんな藤倉さんの自伝。四十五歳という年齢での自伝とは、早すぎやしないかと思ったりしたのだが、そんな心配は全く無用。この方、子ども

老後も楽しむ所存です

子どもの頃、魔女狩りにとてつもない恐怖を感じていて、自分の前前前世は魔女だったのか？と妄想していたこともあった。そして怖いものについては徹底的に知りたいたい派なので、魔女や魔女狩りの本はよく読んでいた。どうしてそうなったのか、正確なところを自分が知ることはないだろうと思う。たとえタイムマシンに乗ってもわかる気がしない。でも、だからこそ興味は尽きず、おそらく読書の愉しみは死ぬまで続くだろう。

今回手に取った『魔女狩りの社会史』は読みごたえがある。まず、魔女

の頃から、めっちゃやおもしろいのである。十五歳での単身渡英から始まる物語は、自由さ・謙虚さ・厚かましさを持ち合わせたご本人のキャラ立ちが素晴らしい。それらを持ち合わせていたからこそ、恩師に恵まれ、伴侶を得て、現在も世界の超一流音楽家たちを魅了し続けている。人間的魅力に溢れた人の周りには、同じくらい魅力的な人が集まるとするのは嘘ではないようだ。つまらない人間のくだらない自分語りほど聞くに堪えないものはない。天才作曲家はその人生も天才的。長い語りが許されるのは、ここまでおもしろい人でなければならぬだろう。

【書誌情報】『長い別れ』(レイモンド・チャンドラー 著、田口俊樹 訳/創元推理文庫 ¥1,100)、『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂冬馬/早川書房 ¥1,900)、『どうしてこうなったのか』(藤倉大/幻冬舎 ¥1,900)、『魔女狩りの社会史 新版』(ノーマン・コーン 著、山本通 訳/ちくま学芸文庫 ¥1,700)

※価格は本体価格です。

# 『油がこぼれ持たせ』なれど絵本

MOE 絵本屋さん大賞2021

で第二位だった『たまごのはなし』の著者、しおたにまみこさんをご存じだろうか。著作はまだ多くはないが、出す度にじわじわと話題になってきている注目の絵本作家だ。可愛らしい画風だが、ちよっとユーモラス、そしてどこか考えさせられる内容で、毎回クセになってしまい読み返してしまおう。

著者の新作『さかなくん』も期待以上の発想力に脱帽した。さかなくんは小学生で毎日小学校に通う。水の外の学校は通うだけでも水でいっぱいヘルメットをかぶるなどの準備がいる。そんなさかなくんの日



前々号が藤子不二雄ネタだったので、先生の計報には大変驚いた。と同時にいろいろな記憶が蘇ってきた。

本屋として通業50年記念の「藤子不二雄」を「ランド」を販売できたのが嬉しかった。ズラリと並べた棚は壮観だった。

六本木ヒルズに参観とはいかなかたけれど、富山へ凱旋してきた藤子不二雄展の最終日に飛び込んだのも、思えば先生はいつもユニークで、最後の公の場では忍者ハットリくんの渦巻模様のマスクを着用されていたと噂です。

先生はいつもユニークで、最後の公の場では忍者ハットリくんの渦巻模様のマスクを着用されていたと噂です。カケオくんも持っています！

BOOKSな各店にて、藤子不二雄A先生の代表作を展開中です。

## 魅惑的な 氷の世界へ

『水の城』というタイトルを見ると、映画『アナと雪の女王』が思い浮かびます。エルサが氷の魔法でお城を建てるあのシーンに、魅入られてしまったあなたにおすすめします。

まるで映画のように、タリアイ・ヴェーソスの言葉によって、『水の城』が美しく建築されます。ノルウェーの田舎町。十一歳の少女、シスとウンは、お互い友達に「なりたない」関係です。ウンはシスを想って、シスはウンを探して、氷の城に向かいます。想い合う少女たちの真っ直ぐで繊細な感情が、ノルウェーの荘厳な氷の姿と重ねて描かれています。

氷を表す文章があまりにも美しく、同じところを何度も読み返してしまいました。私のお気に入り、ウンが凍った湖に寝そべって、透明な底を覗き込むシーンです。ぜひ読んでみてください。

## 料理の鉄人に教わって…

伝説の番組『料理の鉄人』で活躍した道場六三郎さん。

が綴られた一冊です。

御年九十一歳で今もなお、料理人として銀座で活躍です。それだけでも十分驚きですが、現在は登録者数十三万人以上の人気 YouTuber としても活動されています。今回発表された本『91歳のユーチューバー 後世に伝えたい！家庭料理と人生のコツ』は、YouTubeで紹介したレシピと道場さんの元気な日常が綴られた一冊です。

## 猫とはほんとうに不思議ないきものです

「猫は液体である」ということを実感させる『夜は猫といっしょ』は飼主フータ君と足長マンチカンの飼育猫キユルガ、フータの妹ピーちゃんの日常を描くコミックエッセイです。「どうるん」というか「にゅるん」というか不思議な効果音が聞こえてきそうな変幻自在ボディや何を考えているのか分からないつぶらな瞳。猫があるあるはもちろん、質感まで想像できるポップな筆致で描かれるキユルガの魅力にページをめくるたび口角が上が

## 時代が変わっても変わらない面白さ、面白さ

連載開始から四十年。社会人になった時期と近いこともあり、私の人生の傍らにいつも寄り添ってくれていた『コボちゃん』。いつ読んでも色あせるこ

ているのが日常です。

そこで今回おススメしたいのは、巻末に道場さんの出汁の「比」の早見表が付いていることです。料理ごとに汁と調味料の比が紹介されており、その通りに作れば一発で味を決めることができるのです。この早見表を冷蔵庫に貼って、食卓に和食が並ぶ日を増やしてみませんか。



道場六三郎

賞中感動シーンを吹き飛ばしてくるキユルガ、見る度に顔も姿も変わるキユルガ、スマホをかざすとその額がQRコードを読み込むキユルガ…。夏にはアニメ化を控える本作。どんなキユルガワールドをみせてくれるのか期待が高まります。

ないとのこと。「切羽詰まらな」と描けない」という理由ですが、毎日が締切という生活を四十年。作品への愛着がますます深まり、一日でも長く読みつづけたいと願うばかりです。